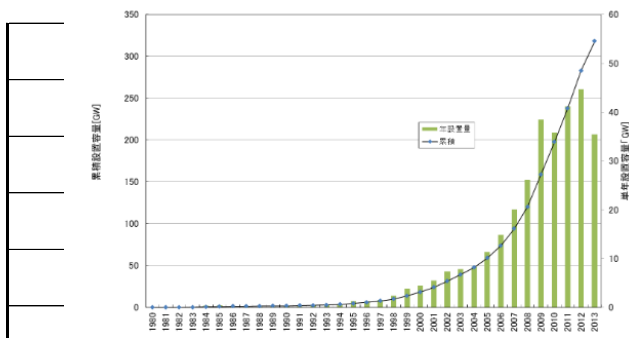


「省エネ市民会議」

会議年月日	26年8月1日	時間	13:30 ~ 16:00	場所	流山市生涯学習センター(3F)
出席者	春田(記)、高橋、日下部、笠原、日々野、難波、小熊、平手、大前、山田、大塚、新美、新田、板倉 (ホワイトボードに向かって時計回り順に記載、敬称略)				
議 題					
8月度「省エネ市民会議」を開催した。					
1, 風力発電について考える(講師=板倉 正 : 自給エネルギーの会 代表)					
a: 自然エネルギーへの思い					
=2児の親として次世代にちゃんとした社会を残したいとクリーン・エネルギーを追求している。					
・風力発電の世界と日本の設置状況					

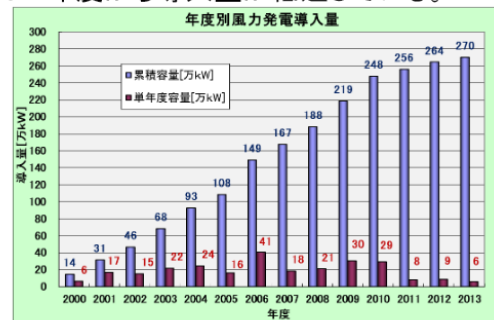
世界の風力発電の累積導入量のトレンド

- 2013年の風力発電の新規導入量は3500万kWに減少したが、年率の成長率10%程度を維持しながら、累積導入量は約3億1800万kW(31.8GW)に達した。



風力発電: 2001年度から2013年度までの単年度と累積導入

- 2011年度から導入量が低迷している。



b: 風力発電の特徴

長所=環境負荷の小ささ、化石燃料の使用量削減、エネルギー安全保障、産業振興・雇用創出など

短所=出力電力の不安定・不確実性、周辺の環境への影響。設置場所の選定が重要となる。

c: 課題

- 生活環境への影響=民家からできるだけはなれたところに設置することが望ましいとされている。
- 生態系への影響=渡り鳥の飛行ルートへの設置は避ける必要があるとされている。
- 景観=周辺住民との合意。平成24年10月より環境影響評価法(平成9年法律第81号)が適用された。
<http://www.env.go.jp/policy/assess/4-7windpower/jigyo.pdf>
- 出力変動=発電予測、スマートグリッドなどの手法が開発されている。

2, 風力発電を増やすには(参加者で討議)

- 自が自然エネルギーを「知る」ことから始め、「考える」、「参加する」、そして「実行する」ことが、自然エネルギー社会の実現につながると思われる。次世代を担う子供達への教育も重要。
- 市民ファンドを含むコミュニティパワーの導入 ・まちづくりに位置づける。 (添付写真参照)

<次回>

9月19日(金)13:30~15:30 生涯学習センター バイオマス・エネルギーについて(講師: 泊みゆき様)

関連資料（提供：板倉 正 さん）

- 1, 自然エネルギー白書（風力編） 2013 年版
一般社団法人日本風力発電協会
<http://jwpa.jp/pdf/hakusyo2013.pdf>
- 2, 風力発電導入ポテンシャルと中長期導入目標 2014 年 8 月 3 日
一般社団法人日本風力発電協会
<http://jwpa.jp/pdf/2014-06dounyuuumokuhyou.pdf>
参考として「風力先進国の状況」（P17、設備容量数値と電力量供給比数値があり、供給比順に掲載）、ドイツ（P18）、スペイン（P19）のグラフが載っています。
- 3, 自然エネルギー白書 2014 年版
NPO 環境エネルギー政策研究所（ISEP）
<http://www.isep.or.jp/images/library/JSR2014All.pdf>
自然エネルギーの世界トレンド、国内での動きが詳述されています。バイオマス部分は 9/19 講師の泊みゆきさんが執筆もしています。
4. 自然エネルギー世界白書 2013 年版
NPO 環境エネルギー政策研究所（ISEP）
<http://www.isep.or.jp/images/library/GSR2013jp.pdf>
- 5, 自然エネルギー世界白書 2014 年版 英語版
http://www.ren21.net/Portals/0/documents/Resources/GSR/2014/GSR2014_full%20report_low%20res.pdf
- 6, 風力発電の社会的受容性
<http://task28.sakura.tv/>
2013 年 8 月に行なわれたシンポジウムの様子。元生活クラブ生協職員で「北海道グリーンファンド」鈴木亨氏による「市民風車の取り組み」報告もあります。
- 7, NEDO 風況マップ
http://www.nedo.go.jp/library/shiryuu_database.html
NEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構)のデータベースページに風況マップがあります。高さ 30、50、70m の風況をメッシュ幅 5km、1km、500m で計測しています。
8. 飯田市条例
http://www.city.iida.lg.jp/reiki_int/reiki_honbun/e706RG00001277.html
「地域環境権」（第 3 条）という概念を使用して、持続可能な地域を地域住民の参画のもとにエネルギー資源も活用する、そのための信用供与などにも市が乗り出す、という画期的な内容だと思います。担当した飯田市環境政策課・田中克己課長補佐のお話を聞きましたが、環境省や都環境局にも条例について聞き取りされているそうです。流山市（東葛各市）でも意欲的な職員とともに実現していきたいですね。



2014/08/01



2014/08/01

自然エネルギーへの思いを語る……(自給エネルギーの会 板倉代表)



2014/08/01

風力発電の設置状況について

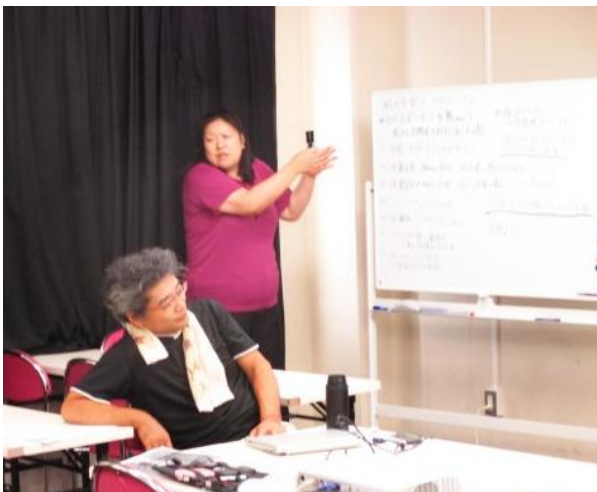
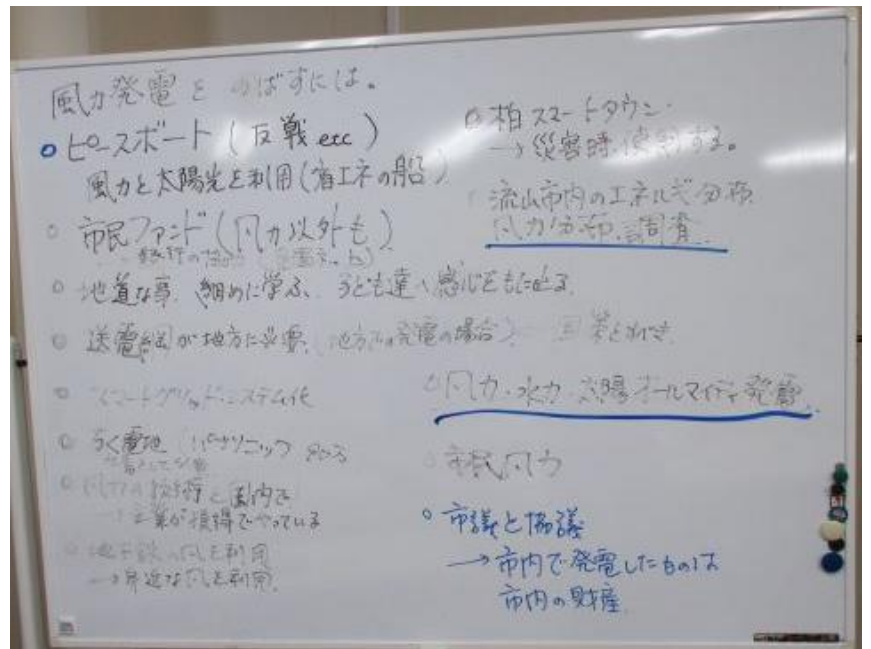


2014/08/01

風力発電をのばすためには？……(笠原会員)



2014/08/01



参加者で討議(笠原会員と聞き入る板倉氏)

- ・世界一周を36,000tの「ピースポート」で行ってまいりましたが、次期最新型後継船は、収納分割式の帆は風力を利用している。
- ・市民パワーが必要だ。
- ・自然エネルギーを身近に。子供たちへの教育が重要。
- ・市内の風力分布を調査したらどうか……